



学習塾講師検定審査員公開研修会

開催!

(社)全国学習塾協会では子どもや保護者が塾を選ぶ際の参考にしてもらうために、また、若手の学習塾講師(特に初心者)に対して、塾講師に求められる知識・技術・能力を体系立てて明示し、「自己啓発・能力開発の一助」とすることを目的に、講師の検定試験を拡充していく考え。

2010年度に実技試験が本格的に始まるのを機に、審査員を現在の30人から300人に増やす。その「学習塾講師検定審査員公開研修会」が1月14日(木)、東京国際フォーラム 展示ホール地下1階で開催された。

授業の質の担保と生産性向上を目指して

開会の挨拶の中で、伊藤政倫会長は、「学習塾を生業にしているということは、子どもたちに学力をつけてお返ししなければならぬということ。そうした費用対効果がなければ、学習塾の存在価値はなく、また、存在することもできません」と語り、「塾講師はすばらしい職業だと生徒から思われるような講師を育成していつてほしい」と締め括った。

また、経済産業省 サービ
 経済産業省 サービス産業課
 中内重則 企画官
 させていただきます」と
 挨拶の言葉を述べた。



評価対象は「塾講師の行動」

本検定試験では、塾講師が身につけるべき事項のうち「共通して求められる知識・技術能力」、「客観的に判断しうる知識・技術能力」を対象範囲に限定して審査。映像によって評価者が審査を行う検定試験の性質上、本検定試験の評価対象は「塾講師の

集団指導2級(満点80点)評価チェックシートの一部

満点		80
1. 導入 配点22点		
問	やや問題	基本水準
A 学習を動機づけるための行動		
1. 授業の位置づけの明確化		
・本日の授業(単元)は何をやるのかを説明している		
・当該単位と他の単位との関わりを説明している		
0	-	4
2. 授業の初めに当該単位に興味を持たせる工夫		
・当該単位について、生徒の興味を持たせる工夫をしている		
0	-	2
B 学習内容を理解させるための行動		
1. 導入時の説明・発問のタイミング		
・最初の説明や発問が、円滑な授業の展開を導くために適切なタイミングである		
0	-	3
2. 導入時の説明・発問の内容		
・最初の説明や発問で、わかりやすい説明ができています		
0	-	3
C 授業に集中(参加)させるための行動		
1. 導入時の話し声		
・惹きつけられる話のリズム・強弱・緩急である		
・一般的に聞き取りやすい声の大小、間、明るさである		
0	3	6
2. 導入時の態度		
・表情、立居、ふるまい、目線、等に違和感がなく情報伝達を促している		
0	2	4

具体的な採点の仕方を説明する
 (株)栄光・横田保美 広報室室長



具体的な採点の仕方を説明する
 検討委員会委員の横田保美氏
 (株)栄光・広報室室長

行動」だ。つまり、知識・能力・技術が行動に現れていない場合は評価しない。

検定試験のために実施する授業については、受検者に対して、評価項目を予め示した上で一定のルールに基づき授業を展開してもらう。

集団指導2級の水準は、集団指導の講師を務めて概ね二、三年であり、実践の中でポイントや基本となる知識を前提として、状況に適応しているかどうかを評価する(満点

八〇点。
 評価をする際には評価チェックシートを用い、「導入」展開「まとめ」の各パートに分けて行う。

その後、昼の休憩をはさんだあと、「審査員資格認定試験」が実施された。



研修会場の様子

学習塾講師技能検定試験の設立に向けた 学習塾講師能力評価システム高度化事業 検討委員会(第2回)開催

検討委員会の委員長でもある
 玉川大学教職大学院・山口栄一教授



社団法人全国学習塾協会は1月18日(月)、東京・三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社において、平成21年度『学習塾講師技能検定試験』の設立に向けた学習塾講師能力評価システム高度化事業、検討委員会(第2回)を開催した。議題は次の通り。

- 1 実施調査結果報告と検討 (①学習塾事業者調査、②塾生保護者調査、③集団指導2級合格者調査)
- 2 個別指導に関する塾講師の能力要件設定の方向性 (個別指導能力要件設定WG進捗報告)
- 3 個集団指導1級検定試験に係る制度構築の方向性 (集団指導検定試験構築WG進捗報告)
- 4 今後のスケジュール

この中で、集団指導2級合格者調査の受検動機についてみると、全体、2008年度合格者、09年度合格者ともに「塾の上司などに勧められたから(80.4%、81.3%、79.2%)」が8割前後を占めている。また、「受検費用を塾が払ってくれたから」がそれぞれ3割弱を占めている。

取得後の効果については、全体では「特に効果がない」が41.1%と最も多いが、09年度合格者では「自分の弱点が明確になった」が50.0%と最も多く、次いで「合格したことで自信がついた」(37.5%)、「塾講師としてのモチベーションが上がった」(33.3%)の順となっている。



第2回検討委員会の様子

